



大型計算機センターニュース

1994. 8. 25

福岡市東区箱崎六丁目10番1号
九州大学大型計算機センター

目次

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. RHOSTコマンドの公開 (MSP) | 1 |
| 2. LAN端末用グラフィックエミュレータTSSEの紹介 | 3 |
| 3. 平成6年度後期プログラム相談員の募集のお知らせ | 5 |
| 4. VP講習会延期のお知らせ | 6 |

1. RHOSTコマンドの公開 (MSP)

8月1日(月)から、MSPのRサーバ(rsh, rcp, rexecなど)を使用する際の支援機能としてRHOSTコマンドを公開しています。MSPのRサーバは、ワークステーションなどのクライアントホストから要求されたコマンド実行(rsh)、ファイルコピー(rcp:新規公開)などをMSPのTSSに実行依頼する仲介機能を提供します。実行依頼を受けたTSSは利用資格の認証のため、クライアントホストに対してパスワードを要求します。一方、R系コマンドはセキュリティの観点から、ネットワーク上にパスワードを流さないという思想の元に、トラステッドホストという概念を導入して利用者の認証を行います。UNIXでは、利用を許す特定のリモートホスト名とそのユーザ名を\$HOME/.rhostsというファイルに記述することでこれを実現しています。MSPのRサーバには、トラステッドホストという概念がないためにRサーバとしては不完全なものです。そこで、本センターでは、これを補完するために、\$HOME/.rhostsファイルに相当する機能をRHOSTコマンドで実現しています。このことにより、今まで利用できていたパスワード問い合わせ方式のrshは利用できなくなっていますので、ご注意下さい。

1. コマンド形式

| コマンド名 | オペランド |
|-------|---------------------|
| RHOST | [{+ -} ユーザ名@ホスト名] |

オペランドの説明

- +ユーザ名@ホスト名: 指定ユーザをアクセス許可リストに登録する。
- ユーザ名@ホスト名: 指定ユーザをアクセス許可リストから削除する。
- ホスト名: クライアントホストのIPアドレスまたはドメイン名。

ユーザ名：クライアントホストに登録済みのlogin名。英字の大文字，小文字は区別されます。
オペランドを省略するとアクセス許可リストを表示する。

2. 使用例

- kyu-cc および planet.geo.kyushu-u.ac.jp をトラステッドホストとしてアクセス許可リストに登録する。

```
READY
```

```
RHOST +a79999a@kyu-cc
```

```
added a79999a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp.(133.5.9.1)
```

```
READY
```

```
RHOST +taro@planet.geo.kyushu-u.ac.jp
```

```
added taro@planet.geo.kyushu-u.ac.jp.(133.5.166.1)
```

```
READY
```

- kyu-cc から MSP の state コマンドを実行する。

```
kyu-cc% rsh kyu-msp -l a79999a state
```

```
TIME=16.22.39 DATE=94.08.01
```

```
TSS USER 0023
```

| JOBNAME | STEP | SNO | CLS | REGION | E-REGION | CPU | TIME | START | ACCEPT | SYS |
|----------|------|-----|-----|--------|----------|----------|------|----------|----------|---------|
| A70054AW | GO | 3 | O | 6208KB | 0MB | 00:00:04 | | 09:01:00 | 09:00:58 | 08/01 M |
| F77079FP | GO | 3 | F | 6208KB | 194MB | 00:06:29 | | 16:15:12 | 16:14:59 | 08/01 M |
| H79059AC | MARC | 1 | V | 9216KB | 40MB | 00:39:46 | | 13:02:15 | 13:02:04 | 08/01 V |
| D32882AC | GO | 3 | V | 9216KB | 290MB | 00:01:08 | | 16:20:18 | 16:20:06 | 08/01 V |

```
:
```

```
:
```

```
kyu-cc%
```

- kyu-cc のファイル test.f を MSP のデータセット TEST.FORT にコピーする。

```
kyu-cc% rcp test.f a79999a@kyu-msp:test.fort
```

- MSP の日本語データセット JEF.TEXT を euc 漢字コードに変換し，kyu-cc のファイル euc.txt にコピーする（網掛け部分はコード変換識別子）。

```
kyu-cc% rcp a79999a@kyu-msp:u jef.text euc.txt
```

- MSP の日本語データセット JEF.TEXT をシフト J I S 漢字コードに変換し，planet のファイル sj.txt にコピーする（網掛け部分はコード変換識別子）。

```
planet% rcp a79999a@kyu-msp:s jef.text sj.txt
```

使用上の注意

- アクセス許可リストに登録できるトラステッドホストは最大5ホストです。
- 転送データは J E F - E U C のコード変換が採用されます。E U C 以外のリモートホストの場合にはコード変換識別子が指定できます。コード変換識別子は以下の4種類が用意されています。

u - : J E F - E U C 変換

s- : JEF-シフトJIS変換
7- : JEF-78年JIS変換
8- : JEF-83年JIS変換

- ・ r s h の場合にはコマンド名の前に付加します (st コマンドは u-st や s-st と記述します) .
- ・ r c p の場合にはMSPのデータセット名の前に付加します (a.data は u-a.data や s-a.data と記述します) .
- ・ u-abc.data や s-123.fort のように、コード変換識別子と区別できないデータセット名は、完全修飾データセット名で記述する必要があります。その場合、完全名を表す引用符 (') はクライアントホスト (cshの場合) で処理されないようバックスラッシュ (\) を前置します (a79999a.u-abc.data は \'a79999a.u-abc.data\' や u-\'a79999a.u-abc.data\' と記述します) .
- ・ MSP ヘファイルのコピーする場合、MSP にデータセットが存在すれば上書きされます。新規の場合は可変長形式のデータセットとしてコピーされます。
- ・ 標準形式の FORTRAN プログラムを MSP にコピーして実行する場合は、予め固定長形式のデータセットを用意しておき、それにコピーすることをお勧めします。もし可変長形式のデータセットにコピーした場合は MSP の COPY コマンドで固定長形式にコピーし直してから実行して下さい。
COPY VB.FORT FB.FORT NON RECFM(FB) LRECL(80) BLKSIZE(23440)
- ・ 自由形式の FORTRAN プログラムを MSP にコピーして実行する場合は、コピー後 MSP の COPY コマンドで可変長形式行番号付きデータセットにコピーし直してから実行して下さい。
COPY NONUM.FORT NUM.FORT NON NUM2(18) RECFM(VB) LRECL(255) BLKSIZE(23440)

(ネットワーク掛 内線2543)

2. LAN端末用グラフィックエミュレータTSSEの紹介

新社会資本整備事業で、大学のキャンパスネットワークの整備が急速に進んでおり、自分の研究室からLAN経由で本センターを利用している利用者も増加しています。KITEが1994年3月18日に完成し、本学も本格的なキャンパスネットワークの環境が整いました。パソコンをLAN端末にすることでftp (ファイル転送) やtelnet (端末機能) がKITEを経由して高速利用できます。

しかし、従来の電話回線や学内低速回線で利用できていた、パソコン端末でのグラフィック表示は市販のLAN製品ではサポートされておらず、グラフィック利用者のLAN利用の1つの障壁となっています。そこで、この問題を解決してくれる、LAN端末からでもグラフィック表示ができる端末エミュレータTSSEを紹介します。

TSSEは長崎大学工学部の修行稔氏が作成されたLAN対応端末エミュレータで、無手順端末用に同氏が作成したTSS.COMをベースにしております。したがって、グラフィック表示やPFDFルスクリーンのほかログ採集などTSS.COMの機能を全て継承しています。

1. 動作環境

アライドテレシス社のTCP/IPドライバ(PC/TCPまたはSLIM/TCP)を利用したPC98シリーズのLAN端末環境

2. 端末エミュレータの入手方法 (ftpで入手します)

1) PC/TCPご利用の場合

a:¥>mkdir tsse
a:¥>cd pctcp

端末エミュレータ関連ファイルのディレクトリ作成

| | |
|---------------------------------|----------------------|
| a:¥pctcp>ftp 133.5.9.2 | PCTCPのFTPでMSPに接続 |
| (username):a79999a | MSPのユーザ名 |
| password: | MSPのパスワード |
| ftp>binary | バイナリ転送モードにする |
| ftp>cd /lib/pds | PDS格納ディレクトリを指定 |
| ftp>get tssea a:¥tsse¥tssea.exe | 自己凍結したファイルをコピー |
| ftp>bye | FTPを終了 |
| a:¥pctcp>cd ¥tsse | TSSSEディレクトリに移行 |
| a:¥tsse>tssea.exe | TSSSEの自己解凍 |
| : | |
| : | 端末エミュレータ関連ファイルが作成される |
| : | |
| a:¥tsse>copy hosts ¥pctcp¥hosts | ホスト定義ファイルのコピー |

2) SLIM/TCPご利用の場合

| | |
|------------------------------------|-------------------------|
| a:¥>mkdir stsse | 端末エミュレータ関連ファイルのディレクトリ作成 |
| a:¥>cd slimtcp | |
| a:¥slimtcp>sftp 133.5.9.2 | SLIMTCPのFTPでMSPに接続 |
| (username):a79999a | MSPのユーザ名 |
| password: | MSPのパスワード |
| ftp>binary | バイナリ転送モードにする |
| ftp>cd /lib/pds | PDS格納ディレクトリを指定 |
| ftp>get stsse a:¥stsse¥stsse.exe | 自己凍結したファイルをコピー |
| ftp>bye | FTPを終了 |
| a:¥slimtcp>cd ¥stsse | STSSSEディレクトリに移行 |
| a:¥stsse>stsse.exe | STSSSEの自己解凍 |
| : | |
| : | 端末エミュレータ関連ファイルが作成される |
| : | |
| a:¥stsse>copy hosts ¥slimtcp¥hosts | ホスト定義ファイルのコピー |

3. 使用例

| | |
|-----------------------------|---|
| a:¥stsse>key tsseth_v.tbl | MSPのファンクションキー設定ファイル |
| a:¥stsse>tsse /h/i133.5.9.2 | SLIM/TCPの場合は (a:¥stsse>stsse /h/i133.5.9.2) |

PLEASE KEY IN "TERMINAL TYPE" (E:END,%X:XTERM6683,NULL:HELP) --->

*** TERMINAL TYPE LIST BEGIN ***

| | | | | |
|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. VT#TTY | 2. VT#TTYJ | 3. VT#9526 | 4. VT#6650 | 5. VT#6650S |
| 6. SUN#9526 | 7. NEWS9526 | 8. G15#6650 | 9. FMR#6650 | 10. TTY |
| 11. SUN#6650 | 12. NEWS6650 | 13. OPENWIN | 14. MSWIN | 15. MSWIN#S |
| 16. MSWIN#J | | | | |

*** TERMINAL TYPE LIST END ***

PLEASE KEY IN "TERMINAL TYPE" (E:END,%X:XTERM6683,NULL:HELP) ---> 10 (TTYを必ず選択する)

ENTER USERID-

A79999A

PASSWORD ?

READY

- ・テクトロ用グラフィックアプリケーションの利用
- ・作業の履歴採集

XFER + F

1・受信 2・送信 番号 -> 1
[データセットをEDITモードにして] XFER + Gを押して下さい.

XFER + G

ファイル名 (例B:¥ 中止:ESC) ->A:¥LOG
受信を開始 (データセットならL Sと入力) して下さい.

LISTC

ST

ESC

受信データをA:¥LOGに格納しました.

READY
LOGOFF

a:¥tsse>

詳細は、端末エミュレータ関連ファイルのREADMEもしくは、センター広報V o 1. 2 6, N o. 2, 1 9 9 3 : 端末エミュレータT S S E v 5. 0 0 - T S S. C O M改訂・イーサネット対応をご覧下さい.

(ネットワーク掛 内線2543)

3. 平成6年度後期プログラム相談員の募集のお知らせ

当センターでは、下記の要領でプログラム相談員を若干名募集しますので、意欲のある方は、どしどし応募ください。また、留学生の方も歓迎いたします。

なお、詳細は共同利用掛にお尋ねください。

記

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 1. 応募資格 | センター利用有資格者 |
| 2. 内 容 | ユーザに対する助言, 技術指導等 |
| 3. 担当時間 | 週1回 (2時間) |
| 4. 任 期 | 平成6年10月 ~ 平成7年3月 |
| 5. 特 典 | 指導用計算機時間(60分) 富士通マニュアル一定限度まで無償配布 |
| 6. 申込期限 | 9月14日(水)まで |
| 7. 申込み先 | 九州大学大型計算機センター 共同利用掛(内線2515) |

4. VP講習会延期のお知らせ

9月14日(水), 9月20日(火)に予定していました標記講習会は都合により延期します。詳細については, センターニュースでお知らせする予定です。

(ライブラリ室 内線2509)